諸声上げよ 意気高く 百十伝わる 篝火よ 蔦壁照らす 赤き火はったかべて

寮友に負けじと 先へ行けと も

汽笛が街を切り裂けば 星降る北は赤き空

君よ恵迪北の星 応え轟き 廻る酒

炬燵布団で 明日を夢見る 蠢さめ 若学者

君が心よ清からん その身醜くあったとて

新たら 二百の階段第一歩にひゃく かいだん だいいっぽ 君忘るるなその心 しき日々で 、朝は来た

Ŧi.

歌え笑え誠なれ

一振り天を 靄こめ朝日 秋早去りぬ 君ぞ苦難の 望みなれ ・ 赤 き 槍 り 朝ぼらけ 割りたまえ